

令和7年度第1回介護保険運営協議会 会議録

項目	内容	
開催日時	令和7年8月20日（水） 午後6時30分から午後7時30分まで	
開催場所	二宮町役場 第1会議室	
出席者氏名	委員	11名 定本貴明会長、上杉栄子副会長、齋藤昌久、吉澤学、佐々尚美、菅澤富枝、松井陽代、古川清香、小笠原圭、秋澤由美、高見澤秀男
	事務局	8名 福祉部長 高齢介護課長、介護保険班長、介護保険班員1人、高齢福祉班長、高齢福祉班員2人 地域包括支援センター管理者
欠席者氏名	柴谷寛人	
議題	1. 開会 2. 議題 (1) 要介護認定者の状況について (2) 第9期計画の評価と課題について (3) 第9期介護保険事業計画（令和6年度）の計画値と実績対比について (4) 二宮町の介護保険実施状況について (5) 介護予防・日常生活支援総合事業実績について (6) 包括的支援事業・任意事業実績について (7) 保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金について (8) その他	

発言者	議題・発言内容及び決定事項
事務局	1. <u>開会</u>
	2. <u>議題</u>
	<u>(1) 要介護認定者の状況について</u>
事務局	(資料1) 事務局より説明
	(質疑応答なし)
会長	ありがとうございます。続いて、議題(2)第9期計画の評価と課題について、資料2の説明を担当者からお願いします。
	<u>議題(2)第9期計画の評価と課題について</u>
事務局	(資料2) 事務局より説明
会長	ありがとうございます。今のご説明に対してのご質問等お願いします。
委員	この評価はどういう基準で決めているのですか。また、最後に説明のあったごみ出し支援のところはCとなっていますが、これは現場のケアマネとしてすごく助かっている事業です。うちの事業所や、周囲のケアマネさんも使わせていただいている方が多いので、Cというのはすごく意外だと思うのですが、その辺のご説明をいただければと思います。
事務局	評価の基準については、先ほどご覧いただいた11ページにその評価の進捗の度合いによって、評価を決めるということになってございますが、C評価以上というのが、概ね取り組みができていますという部分になります。ごみ出しの支援については、ご説明をさせていただいた通り、試行的な実施として令和6年度から開始している事業になります。事業としては軌道には乗っていると思うのですが、先ほども説明の中でお話をさせていただいた通りで、まだそのやり方ですとか方法に改善の余地があるという意味を含め、C評価とさせていただいている次第でございます。
委員	またブラッシュアップしてさらにグレードが上がっていくという、期待を込めています。ありがとうございます。

<p>会長</p>	<p>はい、よろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>何点かあります。1つは、今お話があったごみ出し支援のところですが、委員さんから話がありましたように、現場のケアマネさんとかお互いさま推進協議会とか、地域からいろいろな要望が出て、取組んで行くというのは大きな評価なのだと思います。皆さんの評価と少し見方が違うのかもしれないし、そういう中でこれから委託の回収のあり方とか、いろいろな課題があるということだったのですが、私が1つ教えていただきたいのは、今町としては、これから拡大の方向で検討していきます、その上に地域での見守りネットワークの構築のところ、協議会等での意見交換を進め、試行的実施事業の評価をし、今後のあり方を検討すると書いてありますよね。これからごみ出しの事業を進めていくにあたって、どういう人たちからご意見をいただいて、ブラッシュアップしていくか、お互いさま推進協議会だけじゃない気がするのですが、その辺は特にイメージしてらっしゃいますか。もう少し詳しく教えていただきたいです。あと1ページの包括支援センターの充実の中で、令和6年度より、生活支援コーディネーターを包括職員から社協事務局職員に変更し、業務負担の軽減を図ったと記載されています。それは1つの着地点だと思いますが、今度社協の事務局の体制を見ると、職員がどんどん辞めて変わりながら、社協の本来の事業推進もなかなか厳しいというのを、いろいろなところで見たり聞いたりします。その中で生活支援コーディネーターが、社協職員で担っていただいて実際はどうなのかと、社協の方の負担が大変ではないかとちょっと危惧しているので、その辺の様子をお聞かせいただきたい。あと2つよろしいでしょうか。3ページ、シルバー緊急通報システムです。評価はAということですけど、ケアマネさんも声かけをしたり、民生児童委員も自分が回っているところで必要だなと思う人に声をかけて、かなり設置者が増えてきて、そう言う意味では見守りの1つのツールとしてよいのだろうとは思いますが、先日の会議で、アルソックを設置している人が、アルソックの見守りでどういうケースがあったとか、もう推進して3年ぐらい経つけど民生委員は聞いたことがないと、実際の運用をちゃんと把握しているのですかと質問をしたら、一応社協では把握していると。でもそれをフィードバックいただかないと、本当に見守りに寄与してるのかとか、活用され</p>

<p>事務局</p>	<p>ているのかとか、どういう事例があって、安心安全に繋がるのかとか、リアリティがないなどやりとりをされていて思ったのです。設置するのは、拡大してきているけど、設置が目的ではなく、設置することで見守りが広がって安全に寄与してるということが大事なんだと思うのですが、その辺はどのようにとらえてらしているのかお聞きしたいし、前回申し上げましたけど、この事業を社協に委託するのではなくて、町の事業としてやってもよいのではないかと、その辺も併せてご意見があったら、聞かせていただきたいと思います。</p> <p>もう1点について、5ページです。個別避難計画の推進ということなので、一応それぞれの部署で連携して、2件作りしました。評価はAということですが、この辺の基準、例えばレッドゾーンとか、葛川のこの間の水害でリスクを抱えている人たちは多くいるわけですから、そういう対象者がいて、今回2件作ったということで、Aのことですが、その基準を件数で置いているのか、連携してやれたっていうところにつけるのか、私自身は対象者がまだまだいらっしやるので、職員が抱え込んでというのではなくて、民生児童委員も含めて一緒に推進できたらよいかと思っています。そういうのもあって申し上げたのですが、その辺の考え方をお聞かせいただきたいと思います。</p> <p>ごみ出し支援の関係について、今検討しているのが、アンケート調査の部分で利用者様または申請者の方に対して、どのような課題があるかなどお聞きする予定であります。続いて、生活支援コーディネーターの関係ですが、社協への負担という部分では、確かに現状を考えるとかなり大きいと思ってございます。ただそこにつきましても、我々もサポートに入るような形を構築してございますので、なるべくその負担が増えないような範囲でお願いできればと思っております。続いてシルバー緊急通報システムについて、A評価というところなのですが、委員が言われるように、設置者は増えている状況でございます。社協よりアルソックからの報告書をいただき、実際に緊急通報システムを利用されている方が緊急通報ボタンを押し救急搬送されて一命を取り止めたケースなど、対応事例を把握してございます。こちらの評価については、その件数の伸びという部分での評価でございます。それから個別避難計画の推進についてです。こちらA評価というところですが、計画作成を始めて、件数が少し伸び悩んでいるという部分もあります。その状況の中で今回2件登</p>
------------	--

<p>部長</p>	<p>録をさせていただいたという部分で、A 評価とさせていただいている次第でございます。</p> <p>少し補足説明をさせていただきます。まず、ごみ出し支援ですが、こちらは試行的に開始したのですが、高齢介護課としては、かなりごみ出しの支援はできているという評価をさせていただいていますが、収集を担当する生活環境課の方で、まだ改善の余地があるということで、C 評価という形で、福祉サイドとしては十分 B 評価に達していると認識しています。それから生活支援コーディネーターについて、こちらの職員につきましては、社協の方で新たな職員を採用いたしまして、その新しい職員が生活支援コーディネーターを、前職の方で直接介護職員ではなかったのですが、営業職とかをやっていた方で、事務局長と協力しながらかなりうまく運営してやっていただいておりますので、今後の支援体制も含めた形で、うまくやっていけるのではないかとこのところ記載してございます。それからシルバー緊急通報システムにつきましては、民生委員さんへの説明ということがございましたので、今後福祉保険課の方で、社協と協力して民生委員の役員会あるいは定例会の方でこういった事例があるというようなご説明をする予定になっております。個別避難計画につきましては、確かに件数的には若干少ないということがございますが、レッドゾーンの方に優先してやっているというところがあったのですが、去年の葛川の溢水を受けまして、そちらの方に少しシフトするというような話も聞いております。今後は防災安全課を中心に、どういう支援をしていくかということと、件数を増やしたいということがございます。民生委員ですとか、地区長さんいろいろな方を絡めながら、丁寧にやっていきたいということで、件数的には進んでいないのですが、計画が実効性あるものという形で進めたいという思いがあります。補足説明は以上になります。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、ありがとうございます。よろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>ごみ出し支援のところ、これからアンケートをしたり、生活環境課と調整しながらだと思いますが、ケアマネさんとか現場のサポートをしてくださっている方とかのご意見も十分聞いていただいて、意義あるサポートになるように、ぜひこの制度を高めて進めていただけたらと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、ありがとうございます。よろしいでしょうか。</p>

委員	<p>2 ページですね。緊急時医療情報シートの登録とあり、取り組んだ内容の中に個別避難計画 2 件作成、計 8 件作成、登録者 922 名とあります。この数というのはい多いのか少ないのかわからなくて、大磯ではもう少し多かったと聞いています。以前はまだ進められないからと聞いていたのですが、あまり進んでいないのかなど。どうしたら進められるのか、そのあたり考えていらっしゃるのかどうか教えてください。</p>
事務局	<p>緊急時医療情報シートというものと個別避難計画というのは別物でございまして、緊急時医療情報シートの登録者が 922 名いらっしゃるというような状況です。また先ほど部長からもご説明をさせていただきました通り個別避難計画の推進につきましては担当課と調整をしながら、まずレッドゾーンにお住まいの方を中心に展開をしていければという思いであります。</p>
部長	<p>個別避難計画の一番のネックとしましては、その方が避難するときに、誰を支援者にするか、そこが一番重いところで、なかなかそれを決めきれないというところがございます。大磯町はその点で進んでいる、ある程度自治会にお願いしてやっているというところもありますので、その辺は少し差が出てしまうように思います。</p>
委員	<p>そこも進めていくという形で、本当にいつ来るかわからないので、こういう部分は早急に考えていただけたらと思っております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。この資料に関してのご質問等は、よろしいでしょうか。続きまして、議題（3）第9期介護保険事業計画（令和6年度）の計画値と実績対比について、資料3の説明を担当者からお願いします。</p>
事務局	<p><u>議題（3）第9期介護保険事業計画（令和6年度）の計画値と実績対比について</u> （資料3）事務局より説明 （質疑応答なし）</p>
会長	<p>ありがとうございます。続きまして、議題（4）二宮町の介護保</p>

	<p>険実施状況について、資料4の説明を担当者からお願いします。</p>
事務局	<p><u>議題（4）二宮町の介護保険実施状況について</u> （資料4）事務局より説明</p>
委員	<p>資料4につきましてご質問等よろしいでしょうか。この第17段階、これは全国的に同様ですか。</p>
事務局	<p>基本的には国の標準段階で13段階までを示されています。そこから、市町村の方で決められるというようなことになっております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。続きまして、議題（5）介護予防・日常生活支援総合事業実績について、資料5の説明を担当者からお願いします。</p>
事務局	<p><u>議題（5）介護予防・日常生活支援総合事業実績について</u> （資料5）事務局より説明 （質疑応答なし）</p>
会長	<p>続きまして、（6）包括的支援事業・任意事業実績について、資料6の説明を担当者からお願いします。</p>
事務局	<p><u>議題（6）包括的支援事業・任意事業実績について</u> （資料6）事務局より説明 （質疑応答なし）</p>
会長	<p>続きまして、議題（7）保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金について、資料7の説明を担当者からお願いします。</p>
事務局	<p><u>議題（7）保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金について</u> （資料7）事務局より説明</p>
会長	<p>ありがとうございます。この資料7につきまして、何かご質問等ありますか。</p>

委員	交付額は合計 846 万円、これはどんなところに使われるのでしょうか。
事務局	まず歳入として予算に入ってきます。それを充当というのですが、歳出に税を充てるといったものがあります。推進交付金につきましては、地域包括支援センターの運営事業に充てられます。
委員	これは予算化の前年度には、入ってくる金額も見込めないということですね。
事務局	考え方としては前年ベースで予算立てをしており、実際その交付決定の額が決まったら補正を行い交付決定額にします。
委員	主に地域包括支援センターの運営資金に充てられているということですか。
事務局	推進交付金はそうです。努力支援交付金につきましては、地域支援事業の介護予防事業や包括的支援事業として認知症の関係や、生活支援コーディネーター等に充てています。
委員	それは町の予算書を見るとわかりますか。
事務局	町の予算書の中だと、国庫の補助金になります。
部長	予算書の中では、他の国とか県から入る交付金と一緒にしているので、予算書からは読み取れないかと思います。
委員	二宮町として 846 万円はすごく大きいと思いましたので、お聞きしました。
部長	846 万円は確かに大きいです。やるべきことをやれば交付される。交付金をもらうために、手を出し過ぎてしまうと、職員負担がとも増加したり縛りもありますので、そこをよく見ながらやっていかなければならないというところです。

委員	評価項目も毎年変わるということなのですが、今年度についてはぐんと減ることもあるのですか。
部長	多小の増減は出ます。
委員	合計得点率 57.6%で 846 万円。これが満点になると、倍くらいの金額になるのでしょうか。
部長	少し複雑な計算になると思います。
委員	要は職員の人数とか負担との兼ね合いで調整しながら運用しているということですね。了解しました。
会長	はい、ありがとうございます。二宮は、神奈川県及び全国平均を上回っていますので、高齢介護課の皆さんの努力が非常に大変かなと思いました。 議題（8）その他ということで、今回の介護保険運営協議会全般について何かご質問などありますでしょうか。
	<u>議題（8）その他について</u> (意見なし)
会長	以上で第1回介護保険運営協議会は終了とさせていただきます。 【閉会】